

## 平成23年度特定課題研究費実績報告書

研究代表者	所属	一般科	職	准教授	氏名	乾 展子
研究分担者	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
	所属		職		氏名	
研究課題名	(和文) 英語史における仮定法の変遷 (英文) The Change of Subjunctives in English Language					
研究種目	スタートアップ研究					
研究実績の概要						
英語における仮定法の用法は数は多くないがいくつか見られる。それらの用法の1つの「倒置」に焦点を当て、現代英語と初期近代英語におけるこの用法を観察し比較した。2つの時代の用法を比較しどの点で同じで、どの点で異なるのかを明らかにした。この結果を基に、ミニマリストプログラムを用いて、この仮定法における倒置の構造を分析した。仮定法の構造の中心となるModPを想定し、この構造を用いて仮定法の普遍的構造を考えていくのだが、これが仮定法においてどのように機能し、さらに倒置現象に応用できるか検討分析した。以上の研究内容について、論文を1回投稿した。当初の予定通りに研究を進めることができた。また、書籍の購入や物品の購入など適切に研究費を使用し、この研究を進めることができた。						
研究発表(論文、著書、講演等)						
(論文) ・ “ Inversion in Complement Clauses with Subjunctive in Early Modern English and Present-Day English ” 『異文化研究8』2011.						
その他(教育活動・OPCへの貢献、特許等)						
OPCでは中学生を対象に、英語を用いて数学を学ぶ講座を開いた。その際、この研究での分析をOPCでの講座内容にも一部盛り込み、英文法の仕組みなどを中学生にも分かりやすく講義を行った。						